



平成27年度を迎えるとき、この課題解決に努力しましょう。

園長 山下 勝弘

白河めぐみ学園・白河こひつじ学園関係用地の除染作業が終了し、安全宣言が出たわけではありませんが、現状の放射線量数値が国が決定している除染必要数値を下回る状態になり課題解決に少しは近づきました。しかし、白河めぐみ学園・白河こひつじ学園が直面している課題はまだ多く残されています。

緊急の課題は、学校の高等部を卒業する在園児童のこれからの進路です。卒業とともに、望ましい生活と日常活動、就労の場所が用意され、社会生活に参加できる児童は限られています。多くの児童が、自分の希望する生活を実現することが困難な状態に置かれています。その大きな理由は、社会資源の不足です。児童自身の問題よりも、それぞれの児童が利用できる社会資源、生活環境がまだまだ不十分な状況です。

除染問題は、少なくとも福島県民にとっては、共通の課題として認識され、解決のための働きが全体として広がっていました。それに比較するとこれらの児童の課題は、限られた人達に認識されているにすぎません。

放射能被害は、「自分が希望する生活を選び実現する権利」を侵害していました。高等部を卒業した児童は放射能汚染という権利を侵害する条件が軽減されても、社会資源の未整備という現実によって、「自分が希望する生活を選び実現する権利」、つまり基本的人権が侵害される状況下に依然として置かれています。

平成27年度の新しい年度を開始するにあたって、さらに基本的人権を侵害する社会資源の未整備という課題解決に、一層強い認識をもち、具体的な働きを協力してあげていきましょう。

卒園おめでとう



学園を卒園となる児童の送別会を行ないました。参加した全員が、お互いに大切な友達との別れを惜しみながらも、心の中ではいつも一緒だと約束し、励まし合いました。卒園生の皆さん、これからも自分らしく元気に頑張ってください。

バレンタインデー&ホワイトデー♡



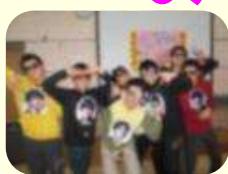
バレンタインデーとホワイトデーに男の子、女の子それぞれが手作りおやつのパゼントをしました。

誕生会(1月・2月・3月)



1月26日、2月16日、3月9日にそれぞれその月の誕生者を祝う誕生会を行ないました。みんな素敵なプレゼントをもらって喜んでいました。会食では漫才を披露してくれる児童もいて楽しい雰囲気ケーキを頂きました。

めぐみコンサート



2月24日にめぐみコンサートを開催しました。児童全員が参加してとても楽しい催しとなりました。歌やダンス、漫才などそれぞれ得意なものを披露しました。

苦情解決委員会

子どもたちの生活や環境、職員の対応などについての苦情を受け付け、解決に取り組めます。お気軽にご相談ください。

また、牧人会の苦情解決第三者委員会も設置されています。苦情受付箱「みんなのこえ」への投書や受付窓口などに直接相談するほか、第三者委員に相談することもできます。

